

## モンゴル

2009年上半期には、世界経済・金融危機によるモンゴル経済の収縮に、若干緩和の傾向が見られるようになった。第2四半期の実質GDPは拡大し、インフレ率は低下し、通貨の増価と同時に、貿易活動は活発化している。しかし同四半期に、失業者数は増加し、国家財政収支は悪化し、産業生産額は減少している。7月の経済状況もほぼ同様である。

### 国内総生産 (GDP)

上半期のモンゴルの実質GDPは、2005年価格で1兆6,090億トゥグルグであり、前年同期比1.3%減となった。第2四半期の成長率は前年同期比0.7%増であった。GDPの減少は、鉱工業、建設業、卸・小売業の生産活動の減少によるものである。上半期の鉱工業、建設業の付加価値額はそれぞれ前年同期比6.5%減、農業は3.6%増、サービス業は2.1%増となっている。同時期の各部門の生産物に対する純課税額（補助金を除く）は、前年同期比7.5%減となった。

### インフレ・為替レート・失業

消費者物価を基準としたインフレ率は、6月は前年同期比6.3%、7月は同4.9%に低下した。これらの低下は主に、消費者物価指数の中で大きなシェアを占める食料品・非アルコール飲料の動きによるものである。

6月末時点で通貨トゥグルグの対米ドル為替レートは、1ドル=1,436トゥグルグで、3月から5.8%増価したが、7月には同1,455トゥグルグとなり、1.3%減価した。これは前年同月比26%の減価である。またトゥグルグは同時期に、中国元に対しては前年同期比26%減価し、ロシアルーブルに対しては同7.2%増価した。

6月末の登録失業者数は39,500人で、7月末には40,700人に増加した。これは前年同月を29.4%上回っている。新規登録失業者のうち、44%はウランバートル市で登録したものである。また全国の新規登録失業者のうち、67%が16~34歳で、67%が高校または中学卒、16.6%がそれ以上の学歴となっている。

### 国家財政

2009年上半期の財政収支は、2,610億トゥグルグの赤字となった。これは前年同期の赤字額を2,560億トゥグルグ上回っている。7月には赤字額がさらに200億トゥグルグ拡大している。上半期の財政収入は前年同期を20%下回り、財政支出は前年同期を4.8%上回った。上半期に租税収入

は前年同期比28.8%減少した。これはもっぱらモンゴルの主要輸出品の国際市場における価格低下により、臨時収入税が減少したことと、所得税の減少によるものである。財政支出の増加は主に前年同期を12%上回った賃金・給与と、同じく4%に上回った補助金によるものである。

### 産業生産額

産業生産額は2009年に7か月連続で減少を記録している。上半期の産業生産額は前年同期比8%減となり、7月には同15%減となった。累計すると1-7月の産業生産額は前年同期比9%の減少となった。

部門別に見ると製造業の落ち込みが最も大きく1-7月は前年同期比で4分の1減少、鉱業が同2.3%減となった。一方、エネルギー・水供給部門は同1.5%の成長を達成した。

7月末時点で産業部門の雇用は46,200人であった。これは前年同月を4,100人、率にして8.2%下回っている。

### 外国貿易

2009年上半期のモンゴルの貿易総額は17億ドルで前年同期を39.6%下回った。このうち輸出は前年同期比40%減、輸入は同39.3%減となった。貿易収支の赤字額は1億3,000万ドルに拡大した。7月にはさらに3,400万ドルの赤字が発生した。1-7月にモンゴルの輸出先は56か国、輸入先は96か国であった。同時期にモンゴルの主要な鉱産物（金、螢石、錫精鉱等）の輸出は、数量、金額の両方で減少した。また、家畜製品の輸出は数量では拡大したが、金額は低下した。

一方、銅精鉱およびモリブデンの輸出数量は、増加または横ばいであるが、それらの輸出金額は前年同期のほぼ半分にとどまっている。例として、1-7月の銅精鉱の輸出数量は2008、2009の両年とも、335,000トンで変わらないが、輸出金額は2008年の5億2,000万ドルから、2009年には2億2,900万ドルに減少している。

### モンゴル・ロシア関係が新たな段階へ

8月25~26日にメドベージェフ・ロシア大統領がモンゴルを訪問し、“モンゴル・ロシア間の戦略的協力関係の発展に関する宣言”に調印が行われた。さらにこの他に、両国間で二国間協力に関する下記の4件の文書が調印された。

- ・モンゴル鉄道庁とロシア連邦鉄道輸送庁の間の協力に関する覚書
- ・ウランバートル鉄道、ロシア鉄道、トランスマシユ持株会社<sup>1</sup>の間の協力に関する覚書

<sup>1</sup> ロシアの鉄道関連機械メーカー

- ・モンゴル総選挙委員会とロシア中央選挙委員会との議定書
- ・モンゴル-ロシア国境地帯のウラン鉱脈を探索するドルノド・ウラン会社の設立に関する合意書

また両国は、両国間の天然ガスパイプラインの建設の可能性についても議論した。

(ERINA調査研究部研究主任 Sh. エンクバヤル)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年1Q	2Q	1-6月	2009年6月	7月
実質GDP成長率 (対前年同期比：%)	7.3	8.6	10.2	8.9	▲ 4.2	0.7	▲ 1.3	-	-
産業生産額 (対前年同期比：%)	▲ 4.2	9.1	9.7	2.8	▲ 8.3	▲ 6.7	▲ 7.9	▲ 10.1	▲ 14.8
消費者物価上昇率 (対前年同期比：%)	9.5	6.0	15.1	22.1	16.3	6.3	6.3	6.3	4.9
登録失業者 (千人)	32.9	32.9	29.9	29.8	34.8	39.5	39.5	39.5	40.7
対ドル為替レート (トゥグルグ)	1,221	1,165	1,170	1,268	1,524	1,436	1,436	1,436	1,455
貿易収支 (百万USドル)	▲ 113	107	▲ 114	▲ 710	▲ 72	▲ 58	▲ 130	▲ 29	▲ 34
輸出 (百万USドル)	1,064	1,542	1,948	2,535	322	441	763	170	160
輸入 (百万USドル)	1,177	1,435	2,062	3,245	394	499	893	199	194
国家財政収支 (十億トゥグルグ)	73.3	123.4	133.2	▲ 305.7	▲ 107.0	▲ 154.0	▲ 261.0	▲ 70.0	▲ 20.0
国内貨物輸送 (百万トンキロ)	10,268	9,693	9,030	9,051	1,777	2,404	4,181	-	-
国内鉄道貨物輸送 (百万トンキロ)	9,948	9,226	8,361	8,261	1,686	2,061	3,748	644	653
成畜死亡数 (千頭)	677	476	294	1,641	598	840	1,438	405	-

(注) 消費者物価上昇率、登録失業者数、為替レートは期末値。

(出所) モンゴル国家統計局 『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号 ほか